

反応性界面活性剤 アクアロンKH



吾郷 陽介 あごう ようすけ

機能化学品事業部 機能化学品営業部
海外担当
03-5463-3678
y.ago@dks-web.co.jp



これからの主流となる環境対応型。
そのすぐれた特性で、世界市場を拓くために。

——今、主に営業活動を展開されているのは、海外ですか。

吾郷 今回、お話しする製品アクアロンKHは、塗料や紙、繊維、建築材の接着や粘着コーティングなど幅広い分野で用いられる水系のポリマーエマルジョンのための反応性界面活性剤です。当社での本製品の開発は、国内では30年近い歴史があり、海外では10年ぐらい前から始まりました。その特性を考えた場合、国内のみならず国外でも十分ニーズがあるだろうということで、とくにこの2年ほどは、あらためて国際市場に着目して力を注いでいます。

現在は、主には欧米、とくにアメリカ市場で展開していますが、中国・台湾など東南アジアにも輸出しています。私自身の営業活動は、これらの地域のほか、昨年末からはインド、タイも担当するようになりました。だいたい1.5カ月に1回ぐらいのペースで海外に出ています。

——当社では、少数派の“文系”学部出身ですね。

吾郷 はい。大学では、英語を専攻していました。学生時代から語学力をいかして、海外で活躍できる仕事に就きたいと思っていましたから、希望はかなっているのですが、なかなか大変です。なにしろ、化学的なことは、専門知識どころか、基礎知識すらありませんでしたから。まさにゼロからのスタートでした。

はじめは、学生時代に習得した語学力だけでは、ま

ったく太刀打ちできませんでした。先輩方の行動や話されることの“見よう見まね”で、ただ突っ走っているという感じです。

でも、熱意や情熱は万国共通ですから、今は自分のもてる若さを力に変えてなにごとも果敢に挑んでいます。毎日が、勉強と修業の日々です(笑)。

——海外でとくに心がけていることとやりがいを感じていることは？

吾郷 やはり当社の製品が、他社に比べていかに優れているか、いかに有益であるかを理解していただいた時が、なによりうれしいですね。ただ単に、モノを売



反応性界面活性剤 アクアロン KH

っているだけでなく、製品開発の背景にある意図やそれぞれのカスタムニーズに対応したシステムづくりまでも含めたトータルの提案に納得いただいてこそその営業活動であると考えていますから。

幸い、当社には長年にわたり海外市場において活動されてきた先輩方が多くいます。その中で蓄積されてきた経験談やノウハウを聞かせてもらえるので、感謝しています。

— アクアロン KHシリーズの主な特長とはどういうところですか。

吾郷 アクアロン KHは、反応性基を分子内にもつ界面活性剤で、エマルションの乳化重合の反応初期には、乳化剤として働き、その後、共重合してポリマー内部に取り込まれる多機能型界面活性剤です。

たとえば、界面活性剤のしみ出しやすい一般的な乳化剤を用いた塗膜より、皮膜の透明性、耐水性、耐候性が向上します。

— 当製品にかける、これからの抱負についてお聞かせください。

吾郷 環境への配慮から、従来の溶剤系塗料や接着剤の水系への移行はまだまだ進みます。製品からしみ出しにくいことは、環境へ排出されにくいことで従来、界面活性剤が本質的にもっていた課題を解決するものと考えています。これらの技術は、日本が世界をリードしており、高い機能性を求める世界中のお客様にお答えできる製品です。

また、国ごと、使用状況ごとにアクアロン KHへのご要望は異なりますが、これからも世界中を視野にとらえ、現場の今の声に耳を傾けながら、こまやかに対応し、より多くのご要望にこたえていきたいと思っています。

■ アクアロン KHを使用したポリマーエマルションの特長

1. 環境対応型の反応性界面活性剤。
2. 耐水性に優れたポリマーフィルムが得られる。
3. 泡立ちが少なく、消泡速度の速いエマルションが得られる。
4. 重合安定性は、従来の乳化剤と比べて遜色がない。
5. 廃水処理の負荷を軽減。

■ ポリマー粒子の表面状態

